



# 南の太陽の子 20号

光り、輝く、チーム南陽小  
～太陽のように光り、輝け!仲間と共に笑顔いっぱい!～

令和7年2月14日  
長崎市立南陽小学校  
学校だより  
校長 福島 世記

2月も半ばとなりました。雪が降る厳しい寒さの2月初旬でしたが、ようやく春の気配を感じられるようになってきました。

## ◎ 2月の全校集会の内容(一部抜粋)

季節を表す言葉には、1年を4つに分け、春・夏・秋・冬と表すことは良く知っていると思います。では、1年を15日ごとに24に分けて、季節を表す言葉を知っていますか。「24節気(にじゅうしせっき)」と言います。そして、24節気の始まりが2月3日の「立春」です。「春」のスタートです。



立春の前日、2月2日は何の日か知っていますか。ちょうど、冬から春の季節に向かって、季節の分かれ目ということで「節分」と言われています。

節分では「豆まき」をします。「鬼は外、福は内」と掛け声を上げて豆をまきます。災いを追い払い、幸福を呼び込もうという意味が込められています。各地域では、恵方巻を食べる、イワシの頭を飾る、柊(ひいらぎ)を玄関に飾るなどです。いずれも、昔から行われているもので、願い事や幸福を呼び込むものです。

さて、皆さんの心の中にある、鬼はどんな鬼がいるでしょう。いじわる鬼、夜更かし鬼、ゲーム鬼など、自分の成長を止めてしまう鬼がいるかもしれません。もし、そのような鬼がいたら、節分の機会に鬼退治をしていきましょう。



さあ、「立春」です。春が始まりました。暖かい春はもうそこまで来ています。みんなて寒さを吹き飛ばして、暖かい春を呼び込みましょう。

次に、皆さんが最近頑張っている「○○さん、おはようございます。」の紹介をします。(上手に挨拶をしている4年3名の映像を紹介)

やさしい言葉遣いにも意識をして取り組んでいるお友達がたくさんいると思います。私からは「言霊(ことだま)」の話です。日本では昔から「言葉には魂が宿っていて、口に出した言葉通りの結果をもたらす力がある」と言い伝えられてきました。自分の言葉を一番近くで聞いているのは自分です。だから「ありがとう」というプラスの言葉は言われた相手だけではなく、その言葉を発した自分にもプラスのエネルギーをもたらします。

残念なことに、マイナスのエネルギーをもつ言葉をたく

さん使う人がいます。「面倒くさい」「いやだ」「できない」カッとなって友達に「死ね」など言うてしまうお友達も



いるようです。それは自分に向かって言っている言葉であり、本当はできる力があるのに言霊の力で「できない」方向に進んでしまうことがあるかもしれません。言葉が変われば、人生も変わります。楽しく笑える前向きな言葉を使っていきましょう。(日本教育新聞より引用)

## ◎ 小学校最後の授業参観(6年生)

2月12日(水)は6年生の授業参観・懇談会がありました。小学校最後の授業参観です。「夢作文発表会」がありました。自分の夢をかなえるために、大切にしたい言葉や理由を入れて、プレゼンテーションしていました。大きな夢をもって小学校を羽ばたいて欲しいです。

## ◎ 今年度最後のクラブ活動

今年度も残り23日～25日間となりました。「〇年生の学習ばっちりだ!」「チーム〇年〇組、最高のクラスだ!」と言える3月になってほしいものです。

13日(木)に今年度最後のクラブ活動がありました。学習指導要領のクラブ活動の目標は「異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追及する集団活動の…」とあります。上級生は下級生に対して思いやりの気持ちをもって接し、下級生は上級生ににこがれや尊敬の気持ちをもった活動であるべきなのです。私の子どもの頃もクラブ活動がありました。ソフトボールクラブや化学クラブに入っていた記憶があります。クラブ活動=「楽しい」ものでした。